

募集概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが向うなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会（最終報告会）で発表、さらに1年間実践した結果を、交流フォーラム（中間報告会）と活動報告会（最終報告会）で成果を発表していただきます。

活動報告会（最終報告会）においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞を授与します。

また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページなどで広く公開します。

【サポートの内容】

- プランの実践にかかる経費の提供/上限30万円（査定による）
※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。
- 交流フォーラム（中間報告会）・活動報告会（最終報告会）発表者への交通・宿泊費の支給。（1名分×3回分）
- プランの実現に向けて、実行委員会が認定する防災教育チャレンジプランアドバイザーが助言や現地指導等の支援を行います。

【サポート主体】

- 防災教育チャレンジプラン実行委員および防災教育チャレンジプランアドバイザー
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
- その他、実行委員・アドバイザー等が紹介する諸団体

【表彰】

- 活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与いたします。
- 防災教育チャレンジプラン「サポーター」として認定いたします。

応募資格

- ・防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、民間企業、個人、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）
- ・採用された場合は、都内にて開催予定の実践団体決定会、中間報告会、最終報告会の計3回の会合に出席できること。

応募部門（プランの対象別）

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| A. 保育園・幼稚園の部 | B. 小学校低学年の部 | C. 小学校高学年の部 |
| D. 中学校の部 | E. 高等学校の部 | F. 大学・一般の部 |

応募方法

ホームページ（<http://www.bosai-study.net>）より事前登録後、応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上ホームページへアップロードしてください。

応募締め切り **2016年11月25日(金)**

審査

「防災教育チャレンジプラン実行委員会」の選考により決定します。審査の結果は、事務局よりメールにて応募団体へご連絡します。（応募締め切り後1ヶ月程度）

【審査の観点】

- ・プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
- ・応募された防災教育プランの有効性・新規性
- ・活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

【次年度チャレンジプランの発表】

- ・当年度の活動報告会（最終報告会）の会場にて、次年度チャレンジプランの計画を発表いただきます。

応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
E-mail: cpinfo2865@bosai-study.net / FAX: 03-3556-8217

「防災教育チャレンジプランは、公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けています。」

Disaster Management Education Challenge Plan 防災教育チャレンジプランの流れ

プラン開発・実施/教材づくり/連携体制づくり

- 1 募集**
応募締切2016年11月25日(金)
教育・社会福祉施設/教育委員会/NPO/地域団体/個人
- 2 審査**
2017年1月
- 3 決定発表**
2017年2月18日(土)
2016年度防災教育チャレンジプラン活動報告会
開催(会場:都内にて開催予定)
○2017年度チャレンジプラン発表
○2016年度チャレンジプラン成果発表・表彰
(防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定)
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換等
- 4 実践**
2017年4月～2018年3月
2017年度
防災教育チャレンジプランの実践
○チャレンジプランへのサポート
プラン進行や教材作成にあたってのアイデア提供
・資材提供等
○アドバイザー等の紹介・派遣等
- 5 中間報告**
2017年10月(予定)
2017年度防災教育交流フォーラム
開催(会場:都内にて開催予定)
○2017年度チャレンジプラン中間報告
○交流会・意見交換会
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換・事例紹介等
- 6 成果報告**
2018年2月(予定)
2017年度防災教育チャレンジプラン活動報告会
開催(会場:都内にて開催予定)
○2017年度チャレンジプラン成果発表・表彰
(防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定)
○防災教育チャレンジプランサポーターに認定
○2018年度チャレンジプラン発表

2016年度防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員一覧

- | | |
|---------------|---------------------------------------------------|
| 林 春男
(委員長) | 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
京都大学防災研究所巨大災害研究センター 特任教授 |
| 市川 啓一 | 株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役 |
| 井上 浩一 | 防災ネットワークプラン 代表 |
| 鍵屋 一 | 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 |
| 木村 玲欧 | 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授 |
| 国崎 信江 | 株式会社危機管理教育研究所 代表 |
| 栗田 暢之 | 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事 |
| 齊藤 清一 | 特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 事務局長 |
| 佐藤 公治 | 南三陸町立志津川中学校 教諭 |
| 佐藤 健 | 東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門
災害復興実践学分野 教授 |
| 澤野 次郎 | 災害救援ボランティア推進委員会 委員長 |
| 篠田 貴司 | 新島村立式根島中学校 主任教諭 |
| 諏訪 清二 | 兵庫県立松陽高等学校 教諭 |
| 田村 拓 | 株式会社クオカード 常務執行役員 |
| 中川 和之 | 株式会社時事通信社 解説委員 |
| 平田 直 | 東京大学地震研究所 地震予知研究センターセンター長・教授 |
| 福和 伸夫 | 名古屋大学 減災連携研究センターセンター長・教授 |
| 松木 伸江 | 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 准教授 |
| 松尾 知純 | 防災ゲート・パートナーズ 代表 |
| 南島 正重 | 東京都立両国高等学校附属中学校 主幹教諭 |

- | | |
|-------|--------------------------------------------------------------|
| 五島 政一 | 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部 総括研究官 |
| 佐谷 説子 | 内閣府政策統括官(防災担当) 付 参事官(普及啓発・連携担当) |
| 中野 祐介 | 消防庁国民保護・防災部 防災課 地域防災室 地域防災室長 |
| 廣瀬 昌治 | 内閣府政策統括官(防災担当) 付 参事官(調査・企画担当) |
| 松室 寛治 | 文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室 室長 |
| 吉田 邦伸 | 国土交通省水管理国土保全局防災課 緊急災害対策企画調整官
(2016年8月18日現在、所属役職別50音順、敬称略) |

2017年度 防災教育 チャレンジ プラン募集

Disaster Management Education Challenge Plan



防災教育チャレンジプランとは？

全国の地域や学校で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や、質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。

防災教育交流フォーラム

2016年10月15日(土)
2016年10月16日(日)
東京大学地震研究所2号館
(東京都文京区)

応募締め切りは
2016年11月25日(金)

防災教育チャレンジプラン活動報告会

2017年2月18日(土)：都内にて開催予定(入場無料)

2016年度防災教育チャレンジプラン実践団体による成果発表と、新たに採択された2017年度防災教育チャレンジプラン実践団体による1年間の活動プランの発表を行います。
ご来場の際にはホームページ(<http://www.bosai-study.net>)にて事前登録をお願いします。

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府(防災担当)
後援：消防庁、文部科学省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本赤十字社、全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会

www.bosai-study.net

1年の流れ（イメージ）



例(A) ○○工業高校

プランの対象者：高校生
小学生（高学年）
保護者・PTA
地域住民・社会人
一般・高齢者等

かまどベンチづくりで子どもからお年寄りまで参加し、防災減災に欠かせない「人のつながり」をつくり被災後の心のケアにつなげると共に、学校や行政との連携を研究し災害に強い地域を作ることを目的とした事例

例(B) ○○防災会

教育対象者：地域住民・防災関係者
保護者・自治体・地域住民に対する「子どもに関する防災意識」向上のために、ワークショップに向けテキスト案を作成し、中間報告会において披露し、防災教育チャレンジプラン実行委員会の助言を参考にテキストの最終原稿を作成した事例

2月 (最終報告会) 応募・決定
・活動計画の発表（活動報告会にて）
・応募締め切り12月頃（応募資格・方法・審査の観点を確認ください）

4月 準備期間
活動準備
・かまど調査研究
・高齢者災害時生活支援学習
・意見交換会開催
・プランの具体化
活動交流活動①
①土砂掘削
②基礎コンクリート制作
③レンガ積み
④座板製作
⑤仕上げ作業
材料・器具の準備
かまど調査研究
実行委員も協力
土砂災害学習
かまど施工方法研究
サポーターも協力
学校と地域の繋がり強化

6月 活動期間
制作交流活動②
①土砂掘削
②基礎コンクリート制作
③レンガ積み
④座板製作
⑤仕上げ作業
活動成果発表（夏季）
気象実験実演練習
高齢者との交流、知恵や知識の継承

8月 活動期間
制作交流活動③
①土砂掘削
②基礎コンクリート制作
③レンガ積み
④座板製作
⑤仕上げ作業
活動成果発表（秋季）
かまど完成交流

10月 (中間報告会) 活動期間
制作交流活動④
①土砂掘削
②基礎コンクリート制作
③レンガ積み
④座板製作
⑤仕上げ作業
中間成果の発表（交流フォーラムにて）
異年齢交流で協力の大切さや相互の豊かな心を培う

12月 活動期間
活動普及継続計画
・継続・普及のための出版活動
・成果発表地域交流
・炊き出し実演・展示
・かまど模型制作活動
開催準備
・参加者の募集
・募集方法・プログラムを改良
・中間報告会での助言を受け、

2月 (最終報告会) 最終成果の発表（活動報告会にて）
最終成果の発表に向けた発表資料の準備
HPへテキストの公開
ワークショップ開催（第5回）
ワークショップ開催（第4回）
ワークショップ開催（第3回）
ワークショップ開催（第2回）
ワークショップ開催（第1回）
開催準備
・参加者の募集
・機材の準備
・テキスト原稿入稿
・ワークシoppのチラシ作成
・テラシ配布
・HPでの公開
・子育て当事者のボランティアグループへの働きかけ
・事務局へ相談
・NPO・ボランティア・市 計約15回
・渉外・打ち合わせ
・地元NPOとの連携
・プランの具体化
・防災に取り組む団体から専門性を提供してもらう

3月 サポーター認定
・成果品の提出
・その後継続して活動
・その後自立して活動展開
一成果一
手作り活動（製作のプロセス）をすることによって、人と人の絆、つながりが強まった。その結果、災害に対する想像力や減災に対する想像力を豊かにし、たくましく生きる力を身につけた。
一成果一
適切に広報した結果、子どもを保育園に預ける前の、乳幼児の母親層のニーズが高いことが再確認された。実践内容そのものはユニークな内容ではないが、お母さんたちにとって身近な環境での防災教育推進に寄与していただけるものとなった。

※報告会には、報告書（中間/最終）、発表資料（中間/最終）、展示資料[任意]、配布資料[任意]を準備していただきます。

過去の受賞団体と活動の様子

防災教育大賞 香川県立盲学校
災害弱者と言わせない！香川県立盲学校のチャレンジII



様々な機関・他団体と連携しながら、身近な物を利用した様々な体験学習や訓練等を通じ、視覚障害者に対する総合的な防災教育に取り組むことができている点、視覚障害者に対する防災教育は前例が少ない中、試行錯誤を繰り返しながら、丁寧に取り組んでいる点、取組を通じて、「生徒」、「教員」、「地域」の意識改革において着実な成果が見られる点などが高く評価されました。

防災教育優秀賞 埼玉県日高特別支援学校
車椅子の視点から防災へ！～かわせみ防災プロジェクト～
西予市立皆田小学校
ジオと向き合った防災教育

防災教育特別賞 いのちを守る防災教育を推進する会
ワークショップを活用したいのちを守る防災教育の普及
名古屋市立中央高等学校(昼間定時制)
4つのチャレンジプラン・中央高校総力挙げて取り組みます！

防災教育大賞 仙台市立南吉成中学校
南吉成中学校と地域が協働する防災教育活動プラン



中学生が主導的に防災訓練の企画等を行うことによって、生徒の防災活動に対する主体性・積極性が養われる。地域防災の中核となる中学生の育成が計られている点、学校・地域・家庭の強度体制化を図り、学校という枠を超えた地域全体としての防災教育活動を展開しているという点などがとても高く評価されました。

防災教育優秀賞 香川県立盲学校
災害弱者と言わせない！香川県立盲学校のチャレンジ
上富田ふれあいルーム
上富田ふれあいルーム防災年間計画！
埼玉県立日高特別支援学校
日高特支 車椅子の子どもたちを守る！ 防災力向上計画

防災教育特別賞 周防大島町立城山小学校
地域を見つめ、生きる力を育む防災教育
防災腹話術研究会
防災腹話術・手法の確立と展開

防災教育大賞 気仙沼市立階上中学校
『自助・公助』

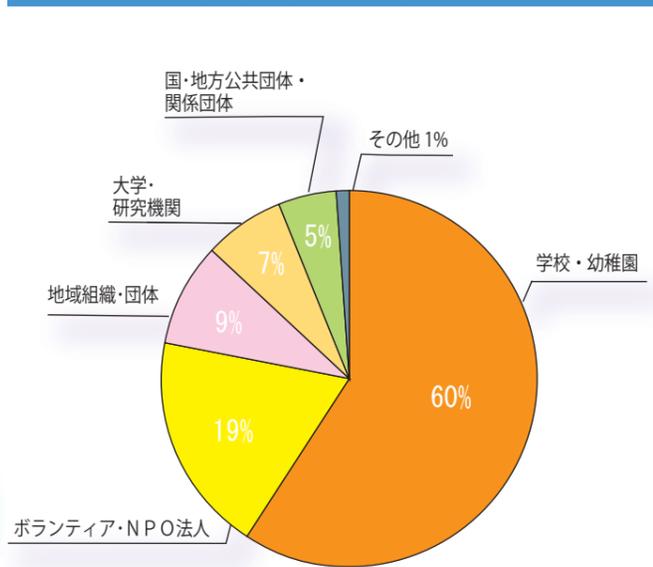


小中合同の訓練、学年別防災体験活動、避難所設営訓練など様々な訓練の充実が図られ、地域と密接に連携しつつ、震災を風化させない工夫がなされている点、3年間で防災学習のサイクルを構築するなど、体系的かつ継続性が高い取組みがなされている点、また、こうした取組みが生徒の主体的な行動に結びついている点などが高く評価されました。

防災教育優秀賞 仙台市立南吉成中学校
南吉成中学校と地域が協働する防災教育活動プラン
飯田市赤十字奉仕団
郷土にまつわる災害伝承紙芝居の作成と活用

防災教育特別賞 アトリエ太陽の子
絵画を通じた東北支援 「命の一本桜」プロジェクト
御嵩町立上之郷小学校
すすんでやりぬく上之郷の子プロジェクト
千葉県立千葉聾学校
伝える・伝わる・伝え合う防災教育
～コミュニケーション力の向上による減災への取り組み～

これまでの参加者の所属



2004年度から2015年度まで延べ242団体が実践団体として参加しました。